

ひとときを輝く。パトナー

「おらほのりんご」を運ぶパトナー



水戸黄門で知られる茨城県水戸市へ出発！



「日野」立体エンブレム



アンダーパイプが輝く



サイドバンパーにマーカ―が連なう



リアバンパーに9連テール



ルーフ周りにも芸術が施される



ロケットマーカ―



アンドンメッシュ内部にはLEDが



「黒石よされ」が描かれる三栄急送のトラックは、それぞれが集結して並ぶと絵が繋がり、1枚の絵が完成する

12月下旬、JA相馬村フルツステーションでは贈答用リンゴの荷造り作業が続いていた。色どりの飛馬リンゴがキャップ詰めされ、一級品の数々が全国の消費者へと届けられている。そのなかでも、一番の支持率を誇るサンふじは美味しさに満ち溢れている。蜜入りや高い糖度などは感動と幸せを与え、消費者を虜にしている。といっても過言ではないだろう。そんな魅力溢れるサンふじの中でも、今回出荷されたのは、今の時

魅力

Part 2



農業振興課
広報担当
齊藤 大貴



サンふじ「みつまるくん」は、高希少価値の蜜入りリンゴとして絶大な支持を受けている

期にしか味わえない「みつまるくん」だ。透き通るような「蜜」は、最高の味わいを演出してくれる。そして、この魅力あふれる「みつまるくん」を積んで出発したのは、三栄急送株式会社のトラック。行き先は、茨城県の水戸中央青果株式会社。約100ヶ所が出荷された。JA相馬村から水戸市までの距離は約560km、時間にして約7時間の道のりだ。トラックに描かれた黒石よされの観音扉が、舞い降りる牡丹雪の中を走り去っていた。

2019年を迎えたばかりだが、平成という偉大な元号は残りわずか。平成最後のリンゴは今日も魅力溢れるトラックが届けてくれた。